

様式第4号その①（第6条関係）

令和6年4月3日

宗像市長 伊豆美沙子様  
（宗像市議会議長経由）

議員名

小林 栄二

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙  
のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和5年度政務活動費収支報告書

議員名 小林 栄二

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	80,700	80,700
資料作成及び資料購入費	0	0
広報及び広聴費	36,850	27,637
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	117,550	108,337

3 残額

155,663 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)

令和5年度 政務活動費明細書

(単位:円)

No	内容	項目	費目											領収書額	政務活動費報告額	
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金			その他
1	印刷費、データ作成費	広報及び広聴費				25,850						11,000			36,850	27,637
2	視察	調査研究費	71,700												71,700	71,700
3	全国市議会議長会研究フォーラム	調査研究費			9,000										9,000	9,000
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合 計			71,700		9,000	25,850						11,000			117,550	108,337

研修開催費		
調査研究費	80,700	80,700
資料作成・資料購入費		
広報及び広聴費	36,850	27,637
人件費		
事務所費		
合 計	117,550	108,337

領 収 証

小林えいし

様

No. \_\_\_\_\_

★

¥36,850.-

但

小林新聞(政務報告)制作代

R5年 8月 1日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

株式会社H S  
福岡県宗像市三倉

印刷製本費  $23,500 \times 1.1 = 25,850$ 円

手数料  $10,000 \times 1.1 = 11,000$ 円



質問  活魚センターの荷さばき所周辺への移転や、缶詰工場の誘致等も検討できませんか。

A) エリア全体のにぎわいに資することを目的に活魚センターの移転や、缶詰工場などの加工業者の誘致は、検討可能と考えております。

今後の水産業の維持のため、利用価値の低い水産物の活用も含め、長期保存を行える缶詰工場の誘致は漁業発展には必要不可欠だと考えます。養殖事業や高度衛生管理荷さばき所の取組と合わせ、地元生産者や事業者と十分に協議し、積極的に動いて頂きたいと思っております。



## ●宗像末社めぐり

地域の誇りを守り、活かします。

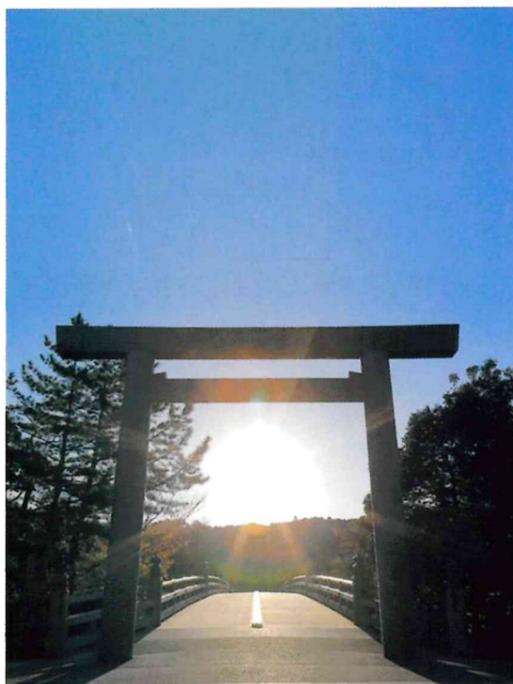
前回に引き続き宗像大社の摂末社120社のひとつを紹介させていただきます。郷土の歴史を知ることは重要ですし、この魅力が多くの人々に伝われば幸いです。

## 還暦神宮参拝

私もいよいよ還暦を迎えました。

先日、玄海地区慣例の還暦参拝で伊勢の神宮に行ってきました。ちなみに一般的に伊勢神宮と言いますが正式には「神宮」と言うそうです。しかし分かりにくいので、あえて言うなら「伊勢の神宮」と言うのが本当だそうです。

神宮には何度か参拝していますが独特の風格と静謐せいひつに今回も感動させられました。



# 小林えいじ

Eiji News Paper

# 新聞

令和5年



## 夢を語り想いをかたちに!!

少子高齢化が社会問題となっていますが、これは宗像市においても例外ではありません。特に玄海地区は高齢化と少子化で子供たちも少なくなっています。これを食い止めるには、まずは若い定住者を増やす必要があります。そのためには住みたくなる魅力ある町にしなければなりません。現在、市街化調整区域指定や世界遺産での規制などのハードルがあります。そこで地区計画を策定するなどして「夢ある明るい未来を想像できる町づくり」を考えたいと思います。議会でも質問しておりますので、詳しくは一般質問のところをご覧ください。

## 令和4年6月議会での一般質問（第2回定例会）

質問  本市でのイノシシ等有害鳥獣の捕獲推進や農作物被害軽減への取組で、有害鳥獣による農作物被害状況とその対策について教えてください。

A) 令和3年度の有害鳥獣による農作物被害額は1,460万円で、このうちイノシシ被害額は1,150万円で、イノシシ1,275頭を捕獲しております。

質問  鳥獣加工処理施設の利用状況と、イノシシがどれくらい加工利用されていますか。

A) ここ数年はイノシシ・鹿・アナグマ・鳥獣など年間約1,800～2,000頭羽が搬入されています。イノシシの約6割が加工利用され、道の駅などでスライス販売されています。4割は小さく血抜きが十分でないイノシシで食肉にされていません。



発行者

小林えいじ事務所 ☎ 090-3071-7676

〒811-3503 宗像市牟田尻1866 ✉ eiji1192kb@gmail.com

「8月・11月議会での一般質問について」は次のページへ▶

# 令和4年8月議会での一般質問（第3回定例会）

**質問** 我が国の食料自給率は2020年度には過去最低の37%まで落ち込み、政府は2030年までに食料自給率を45%とする目標を掲げていますが、本市の食料自給率向上の取組は。

**A** 農業者への効果的かつ安定的な経営のために、効率的な農地利用促進や最新のスマート機器、ICT機器の導入支援、担い手確保のための新規就農者支援も引き続き取り組みます。

**質問** 物価上昇等に対する農業者や漁業者への支援の現状は。

**A** 燃油高騰が著しくなって市独自の支援策を実施しており、引き続き行う予定です。また収入が減少した場合に補填する保険制度も1/2を助成する取組を行っています。加えて価格が急騰している化学肥料は、国や県の補助制度に市が上乗せした支援を考えています。



**質問** 道の駅むなかた、かのこの里はどのような状況でしょうか。出荷登録者と販売額の推移、それから分かる課題について教えてください。

**A** 道の駅の登録者数は横ばいです。収益、販売額も微増です。しかし、かのこの里は高齢化で出品辞退者が出ており、登録者数は減少しています。

**質問** 合併後の平成25年、玄海地域を都市計画区域に編入して10年目を迎えますが、玄海地域の人口推移の状況は。また市はこれをどう評価していますか。



**A** 計画的な市街化を図り無秩序を防止するため、離島を除く玄海地域を市街化調整区域にしたことで、良好な自然環境を保全できたと考えております。人口は合併した平成15年度は9,743人、令和3年度は8,359人で減少しています。

**質問** 都市計画マスタープランを踏まえた玄海地域におけるまちづくりの将来像は。

**A** 良好な自然環境や優良農地などを保全するため、市街化を抑制していく考えです。その上で国道495号沿道は、観光レクリエーション機能と商業サービス施設が自然環境との調和を図った誘導を考えています。

**質問** 玄海地域は、市街化調整区域となったことで戸建て住宅などの建築ができず、人口減少や、地域活力の減退を招いているとの声がありますが、建築可能な土地はあるのでしょうか。

**A** 既に建物が存在した土地は同等の建築が原則可能です。また農林漁業従事者や分家など、一定の要件を満たすことで住宅等の建築が可能な場合もあります。このほか地区計画を定めている玄海ニュータウン、コモン、大王寺区域など建築可能な土地はあります。

**質問** 地域の合意形成が得られれば、地区計画は自由に定めることができますか。

**A** 都市計画法などの法令をはじめ、都市計画マスタープランなどの計画との整合性を図ることが要件ですが、その上で地区独自のルールを定めることは可能です。

# 令和4年11月議会での一般質問（第4回定例会）

**質問** この地域のイカが認識されれば、呼子に負けない消費地になる可能性があると思いますが「イカ王国」筑前玄海イカフェアは単年度の事業ですか。

**A** イカフェア自体は、現在のところ単年度事業です。今年度の結果を見て、ほかの市や町、県と協議し、次年度以降の事業の継続を検討したいと考えます。

**質問** 2024年にデスティネーションキャンペーンが実施されると聞いています。これはJRグループ6社と自治体が共同で開催し、福岡県に向けた旅行商品を造成します。市としての準備は何か行うのでしょうか。

**A** 2024年に開催されますが、旅行会社の宣伝等の取組は2023年度から始まります。市は様々な方法で旅行会社に市の観光素材を知って頂くために、検討したいと考えています。

**質問** 令和4年5月に、本市は磯焼け問題の改善、地球温暖化抑制、持続可能な漁業の活性化、水産業のDXの寄与を目的とし、駆除ウニの陸上養殖実証事業が始動しましたが、現状について教えてください。

**A** 北九州市の高田工業所、九州大学大学院農学研究院、宗像漁業協同組合、及び本市で連携協定を締結し始動した実証事業は、多くのメディアにも取り上げられ注目を集めています。課題は持続可能な事業化を検討しており、販路や事業用地確保などがあります。

**質問** 宗像は外海に面しており、養殖には向かない地域と言われてきましたが、海上養殖の新たな技術も開発が進んでいると聞きます。ただ莫大な費用が必要ですが、宗像の将来の水産業を考えていく上では良い設備と考えますが、いかがでしょうか。

**A** 浮沈式生けすや、可変深度型生けすがあり、波浪・潮流等の対策や水温調整などを考慮できる技術であることは把握しており、莫大な費用が必要となることも理解しております。しかし獲る漁業から育てる漁業は、今後の水産業の維持・発展を考えれば必要と考えます。

**質問** 高度衛生管理型荷さばき所への活魚用の水槽を設置するという話がありましたが、荷さばき所の活魚用水槽の導入は考えているのでしょうか。

**A** 今現在、活魚用の水槽導入は未定ですが施設の機能上、水槽導入は可能と考えております。活用方法や費用面等の課題もあり、今後の対応と考えております。



**質問** 荷さばき所の一角を陸上養殖の場として使用することを考えられませんか。

**A** 施設の一角を陸上養殖の場として使用することは考えておりません。ただ施設に隣接する用地に蓄養施設用地があり、陸上養殖の場としての利用は可能です。また御製広場もあります。荷さばき所、御製広場などを一体的な施設と捉え考えたいと思います。

(様式3)

## 政務活動費旅費計算書

《調査研究費の旅費請求に使用する》

請求者氏名	小林 栄二	用 件	①団地再生・公共交通について 学校給食無償化の検討と展望について ②農林水産について ③労働局との雇用対策協定について 放課後等デイサービス、ひとり親家庭等への支援策について
日 程	1月17日 ~ 1月19日 (3日間)		
用 務 地	① 衆議院会館 ② 衆議院会館 ③ 衆議院会館		
交通手段	■公共交通機関    □私用車    □その他		
パック料金	航空券代+ホテル代 (2泊2食)		69,800 円
控除額	朝食代 (@900) × 2		-1,800 円
鉄道賃	東郷 ~ 福岡空港 (往復)		1,660 円
鉄道賃	羽田空港 ~ 永田町		660 円
鉄道賃	永田町 ~ 東銀座		180 円
鉄道賃	東銀座 ~ 永田町 (往復)		360 円
鉄道賃	東銀座 ~ 永田町		180 円
鉄道賃	永田町 ~ 羽田空港		660 円
車賃	車走行距離 キロ × 37 円		円
合計			71,700 円

※航空券+宿泊代をパック料金として計上

※パックには朝食2回が付いていたので、その食事代を控除する

1. 宗像市職員旅費運用による。
2. 請求者氏名、日程、用務地、用件、交通手段に必要事項を記入し事務局へ提出する。

2024/1/16

**宗像市議会 宗像志政クラブ 様**

ラド観光株式会社 福岡支店  
 観光庁長官登録第一種旅行業第1650号  
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-10-24  
 博多駅前藤井ビル2階  
 TEL (092) 432-1860  
 FAX (092) 432-1908

□方面	東京
□期間	2024年1月17日(水)～19日(金)
□人員	8名

この度は、見積書提出の機会を賜り厚く御礼申し上げます。  
 御見積を下記のように提出致しますので、よろしくお願い申し上げます。

種別	区間		運賃(料金含む)		人員台数	小計	地名・施設名	料金	人員	小計	
	航空券+宿泊(2泊2朝付)	福岡=羽田(往復)	69,800		8	558,400					
交 通 費		都内(2泊2朝付)				0	拝 観 入 場 料			0	
						0				0	
						0				0	
						0				0	
						0				0	
						0				0	
						0				0	
交 通 費 計(A)						558,400	拝 観 入 場 料 計(D)			0	
宿 泊 費	月/日( )	旅館・ホテル名	条件	料金	人員	小計	そ の 他 費 用	国内旅行傷害保険	500	8	4,000
	1/17(水)	ホテルグレイスリー銀座	1泊朝食付・1名一室 (セット料金を含む)	0	8	0		有料道路・駐車場(概算)	0	0	0
	1/18(木)	ホテルグレイスリー銀座	1泊朝食付・1名一室 (セット料金を含む)	0	8	0		添乗員経費(同行しません)	0	0	0
						0		乗務員昼食代	0	0	0
						0		取扱手数料	500	8	4,000
宿 泊 費 計(B)						0	そ の 他 費 用 計(E)			8,000	
食 事 ・ 弁 当	月/日( )	場所・施設名	内容	料金	人員	小計	・上記代金は、見積作成日現在で計算されておりますので、運賃料金改定の場合には変更させて頂く場合がございます。 ・ご参加人員が変更された場合には、代金を改定させて頂く場合がございます。 ・交通費及び参観・入場料は、2022年 11月 15日現在の運賃料金を基礎としております。				
	1/17(水)～1/19(金)	昼食3回・夕食2回	各自で	0	8	0					
						0					
						0					
食 事 ・ 弁 当 代 計(C)						0	お一人様旅行代金 ( 8 名様あたり)		¥70,800		
						0	ご旅行代金総額 (A+B+C+D+E)		¥566,400		

# 領 収 書

:04-036886-025

24年01月26日

現金 小切手 振込  
カード コンビニ

小林栄二様

金額 ¥70,800.-

上記金額正に領収いたしました  
但し、視察旅費

10%対象計	¥70,800	内税	¥6,437
8%対象計	¥0	内税	¥0
非課税対象計	¥0		



福岡市博多区博多駅前3-10-24 博多駅前

ラド観光(株)

登録番号：T6120001071915

取扱者印



※金額を訂正したもの、社印なきものは無効とします。

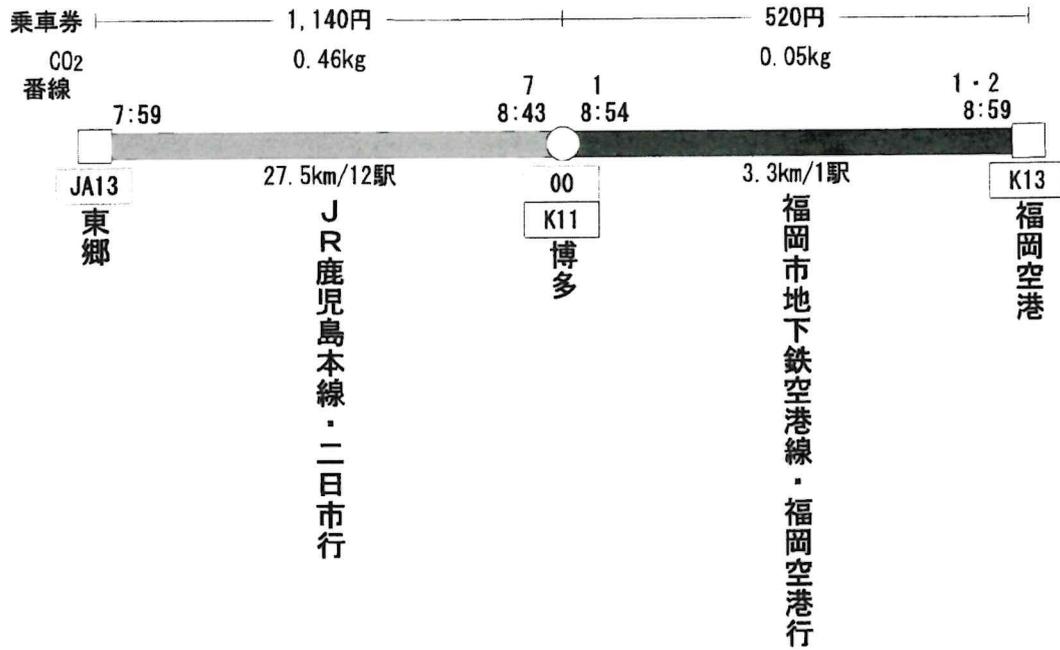
東郷 → 福岡空港

探索順 第1/5経路

出発日 2024年 1月17日(水)  
所要時間 1時間 (乗車49分 他11分)  
往復金額 1,660円

乗り換え 1回 距離 30.8km

CO<sub>2</sub>排出量 0.52kg (🚗 4.0kg)



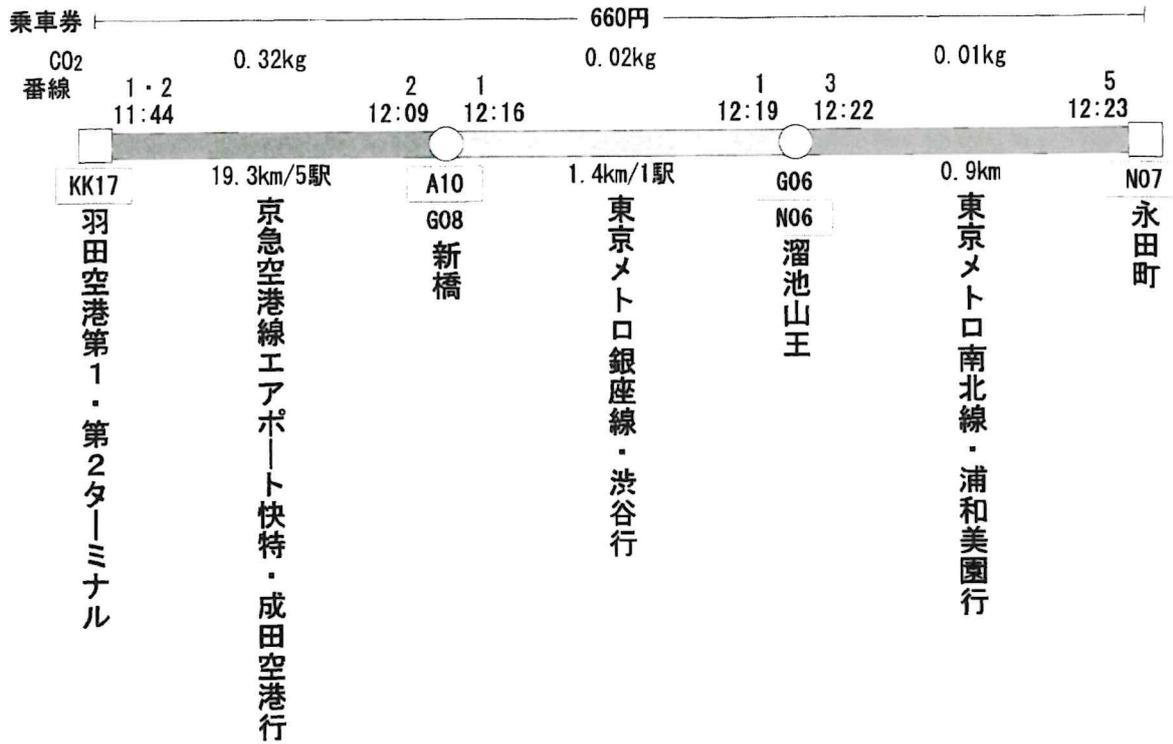
羽田空港第1・第2ターミナル → 永田町

探索順 第1/5経路

出発日 2024年 1月17日(水)  
所要時間 39分 (乗車29分 他10分)  
片道金額 660円

乗り換え 2回 距離 21.6km

CO<sub>2</sub>排出量 0.36kg (🚗 2.8kg)



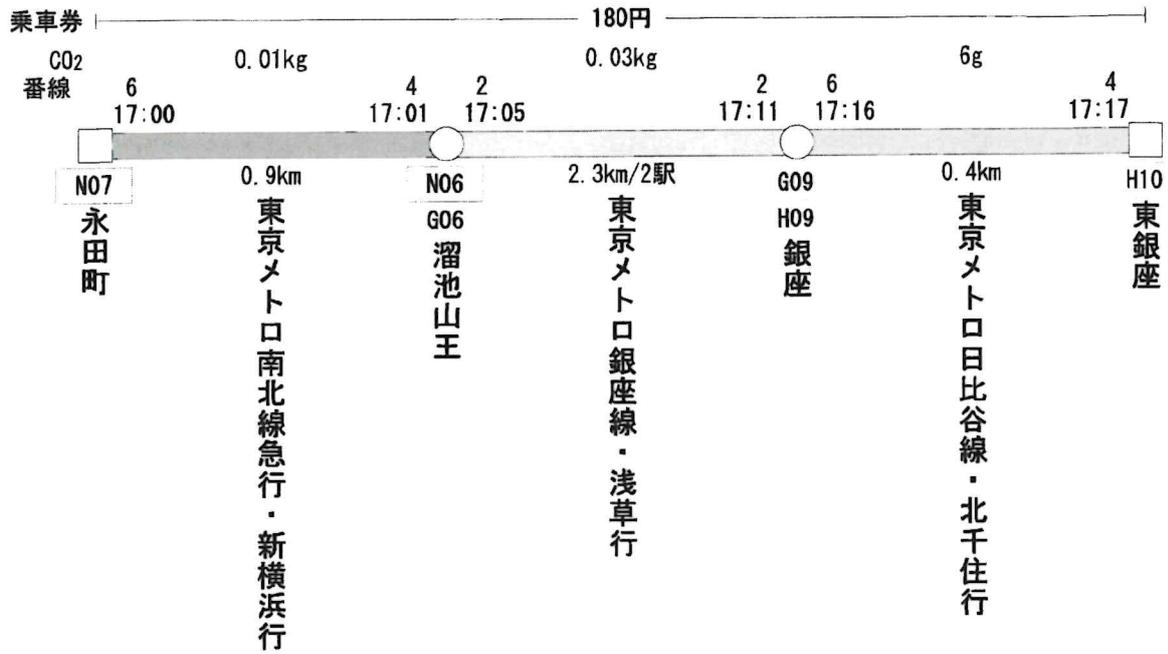
永田町 → 東銀座

探索順 第4/5経路

出発日 2024年 1月17日(水)  
所要時間 17分 (乗車8分 他9分)  
片道金額 180円

乗り換え 2回 距離 3.6km

CO<sub>2</sub>排出量 0.06kg (🚗 0.46kg)



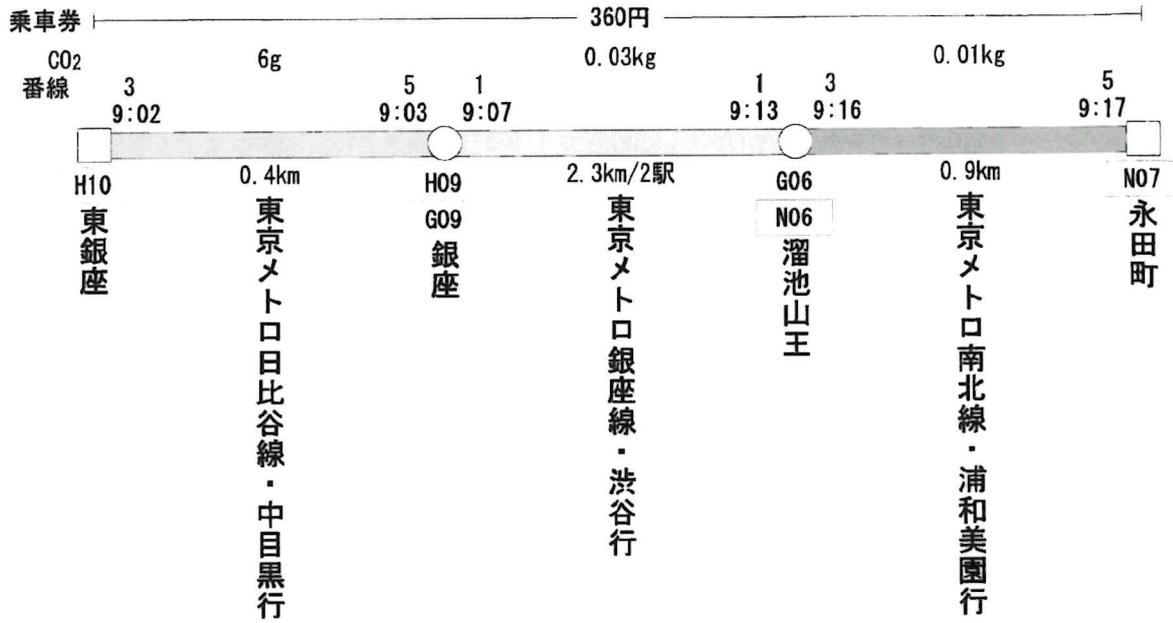
東銀座 → 永田町

探索順 第2/5経路

出発日 2024年 1月18日(木)  
所要時間 15分 (乗車8分 他7分)  
往復金額 360円

乗り換え 2回 距離 3.6km

CO<sub>2</sub>排出量 0.06kg (🚗 0.46kg)



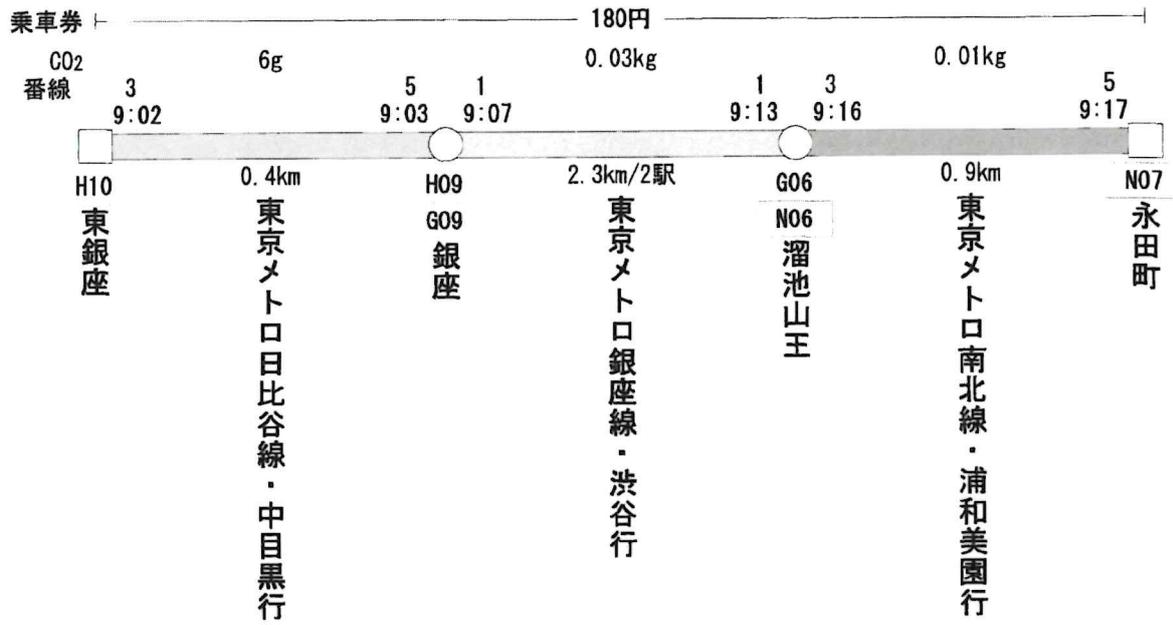
東銀座 → 永田町

探索順 第2/5経路

出発日 2024年 1月19日(金)  
所要時間 15分 (乗車8分 他7分)  
片道金額 180円

乗り換え 2回 距離 3.6km

CO<sub>2</sub>排出量 0.06kg (🚗 0.46kg)



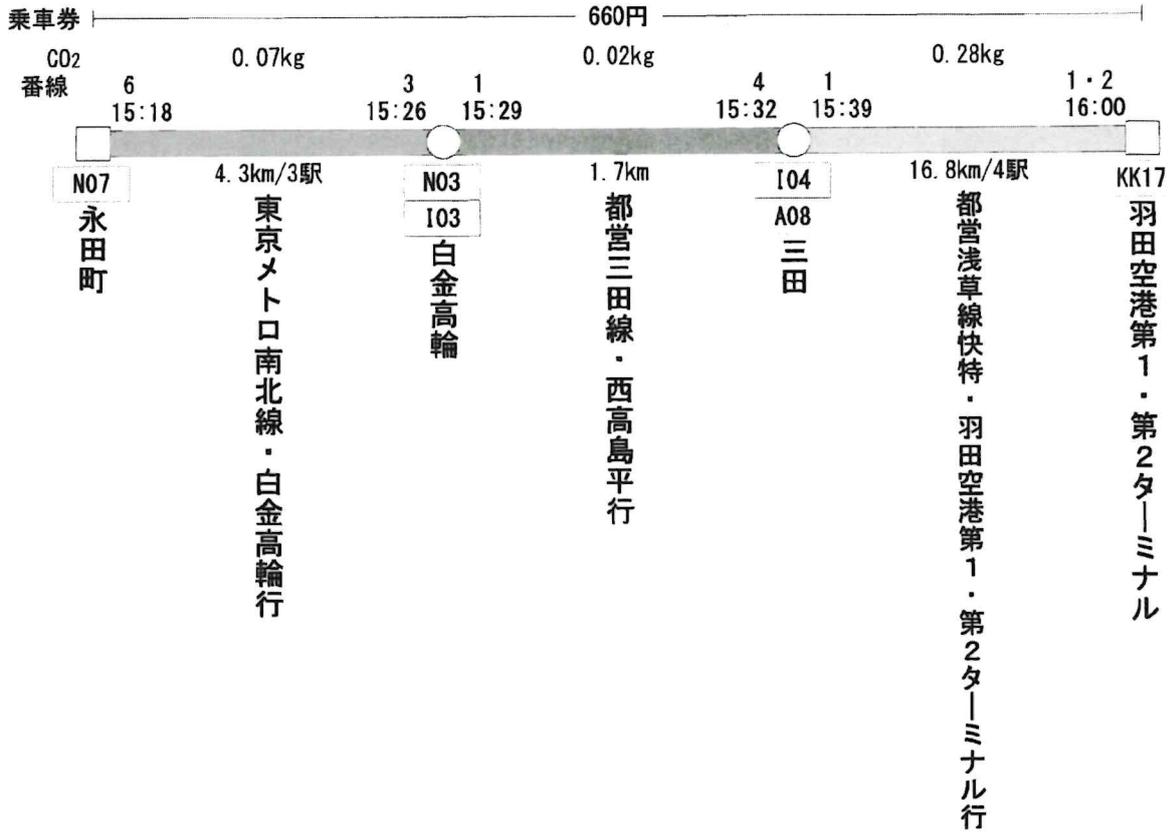
永田町 → 羽田空港第1・第2ターミナル

探索順 第2/5経路

出発日 2024年 1月19日(金)  
所要時間 42分 (乗車32分 他10分)  
片道金額 660円

乗り換え 2回 距離 22.8km

CO<sub>2</sub>排出量 0.38kg (🚗 2.9kg)



様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 小林栄二

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	団地再生・公共交通について		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日程	令和6年1月17日(水)		
時間	14:30 ~ 15:40	場所	衆議院会館
概要	<p>① 団地再生について (UR都市機構ストック事業推進部) より</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 団地再生事業の概要について           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 国内1444団地(約70万戸) 団地ごとに類型化</li> <li>(2) スtock再生の団地については手法を複合的・選択的に実施し地域の特性に応じた機能を導入する団地再生事業として実施</li> </ol> </li> <li>2. 団地再生事業(集約)の流れ・・・住民の移転が大きなポイント           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 計画概要説明会(事前に地域行政と協議)</li> <li>(2) 説明会・・・移転のお願い(二年間)</li> <li>(3) 移転期限</li> <li>(4) 解体工事・・・日の里一丁目はこの段階</li> <li>(5) 居住者の利便性向上</li> <li>(6) 団地・地域の魅力向上</li> </ol> </li> <li>3. 土地利用計画・事業進捗の説明           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日の里団地・・・1533棟→1257棟、集約事業完了、民間譲渡済み</li> <li>(2) 日の里一丁目・・・103.104号棟→解体工事→民間による活用公募</li> </ol> </li> <li>4. UR都市機構のペット共生住宅           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 住宅公団当時はペットNG。平成13年からペット共生住宅を導入</li> <li>(2) ペット共生住宅は後から変えることは難しさがある</li> <li>(3) 施設の説明</li> </ol> </li> </ol> <p>②公共交通について (国土交通省)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「自動運転」について (技術・環境政策課) より           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 意義、現状と目標</li> <li>(2) 福井県永平寺町無人運転移動サービス</li> <li>(3) 政府の推進体制</li> <li>(4) レベル4に向けた技術・安全対策</li> </ol> </li> <li>2. 「高齢者免許返納対策」について (旅客課) より 高齢者に対する公共交通を利用する際の割引を行う地方公共団体に支援を行う</li> <li>3. 「JR等への私鉄支援策」について (鉄道サービス政策室) より 利用者の声を踏まえて、利便性が確保できるように働きかける</li> </ol>		
所感	<p>①団地再生…UR 賃貸住宅ストック活用、再生ビジョンにおいて、UR 賃貸住宅ストックの地域及び団地ごとの特性に応じた多様な活用を行うため、ストック活用、ストック再生等に類型化し団地再生事業として実施されていることを感じました。</p> <p>②公共交通…事故の大部分は運転者の違反に起因。自動運転の実用化により交通事故の削減効果に期待して地域公共交通の維持、改善、ドライバー不足への解決につながることを感じました。</p>		

様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 小林栄二

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	学校給食無償化の検討と展望について		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日程	令和6年1月17日(水)		
時間	15:40 ~ 16:10	場所	衆議院会館
概要	<p>①文部科学省（初等中教育局 健康教育・食育課）より</p> <p>1. 学校給食の概要</p> <p>(1) 努力義務・・・設置者に給食の努力義務</p> <p>(2) 実施状況・・・国立、公立及び私立は令和3年5月現在、小99.0% 中91.5%</p> <p>(3) 経費の負担・・・食材費は保護者負担</p> <p>(4) 学校給食費・・・完全給食の平均月額、小4477円 中5121円</p> <p>(5) 経済的困窮者に対する支援・・・生活保護教育扶助（国3/4）要保護者への就学援助（国1/2）準要保護者への就学援助（地方財政措置）</p> <p>(6) 無償化の実施状況・・・平成29年時点76自治体、近年重点支援地方交付金の活用を通じて実施する自治体が増加</p> <p>2. 子ども未来戦略では、無償化の実現に向けて、まず、取り組み実態や成果・課題の調査を行い令和5年6月13日から1年以内に公表することとなっており、その上で、課題の整理を丁寧に行い、具体的方策検討することとしている。</p> <p>3. 実態把握の観点</p> <p>(1) 児童生徒の公平性</p> <p>①学校給食自体を実施していない自治体があること</p> <p>②実施内容や実施方式に差異があること</p> <p>③アレルギー等により給食の提供を受けることができない児童生徒も存在すること</p> <p>(2) 学校給食費の水準</p> <p>①自治体・学校間で給食費平均月額に大きな乖離があること</p> <p>②実施内容の違いによって単価が異なること</p> <p>(3) 学校給食の負担</p> <p>①自治体・学校間で就学援助の対象者が異なること</p> <p>②自治体により設置者と保護者の間で負担の在り方が異なること</p> <p>これらの観点を踏まえ、書面調査を実施するとともに、調査結果を踏まえた上で、自治体等からのヒアリング等を実施する。</p> <p>4. 成果や課題の把握</p> <p>(1) 取り組み実態の調査</p> <p>①支援対象・要件、支援方法</p> <p>②実施主体・財源</p> <p>③ヒアリングなどを通じて実施スキームに応じた成果・課題を把握</p>		
所感	<p>学校給食の実態の把握の観点から公平性については学校給食を実施していない自治体、学校が存在すること、給食費の平均月額に乖離があること、給食費の負担が自治体間で就学援助の対象者等が異なることからヒアリング等を実施されていることがわかりました。</p>		

様式2



様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 小林栄二

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	農林水産について		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日程	令和6年1月18日(木)		
時間	14:30 ~ 15:40	場所	衆議院会館
概要	<p>① みどりの食料システム戦略について 農林水産省(農産局環境対策課)より</p> <p>1. みどりの食料システム戦略の概要について</p> <p>(1) 現状と今後の課題・・・農林水産業や地域の将来も見据えた持続可能な食料システムの構築が急務</p> <p>2. 有機野菜の取り組みの拡大について</p> <p>(1) 目標・・・2050年までにオーガニック市場を拡大しつつ、有機農業の取り組み面積を25%拡大</p> <p>3. 学校給食の取り組みについて</p> <p>(1) 有機食品を学校給食に利用している市町村は増加傾向</p> <p>(2) オーガニックビレッジにおける学校給食の取り組みは8割以上</p> <p>(3) 市町村事例説明</p> <p>(4) 有機農業関連予算概要</p> <p>モデル的先進地区の創出・・・オーガニックビレッジはR4年度55市町村→R5年度92市町村に増加。移住定住者、新規就農者も増加している。</p> <p>人材育成や需要喚起等を通じた現場の取り組みの推進</p> <p>グリーンな栽培体系への転換サポート・・・環境にやさしい栽培技術と省力化に資する先端技術等と取り入れたグリーンな栽培体系へ転換を推進</p> <p>有機農産物の販路拡大、新規需要開拓の推進</p> <p>※文部科学省、学校給食地場産物・有機農産物資料促進事業の説明</p> <p>②田んぼダム(浸水対策)について 農林水産省(農地資源課)より</p> <p>1. 田んぼダムの仕組みについて</p> <p>誤解されやすいポイント「施設ではない」「排水路や河川から水田に水を引き入れるものではない」「作物の生産に影響を与えない範囲で農業者の協力を得て実施する取り組み」</p> <p>2. 政策的位置づけ、支援制度について</p> <p>3. 河川整備や遊水地のコストが課題</p> <p>③養殖業成長産業化の推進について 水産庁(増殖推進部栽培養殖課)より</p> <p>1. 動向・・・世界の養殖生産量は過去二十年間で約四倍に成長している</p> <p>2. 養殖業成長化産業化総合戦略について</p> <p>3. 今後の成長目標と方針について・・・天然く養殖</p>		

## 様式2

所 感	<p>①みどりの食料システム戦略…有機農業と地域おこしを一緒にして地域発展につなげる事ができると感じました。</p> <p>②田んぼダム…田んぼダムを実施する地域やその下流域の浸水被害リスクを低減するための取り組み、面的に広がる水田を活用したダムは、遊水池と比べて低コストで設置可能だと思いました。</p> <p>③養殖業…全世界では、藻類養殖や内水養殖の生産量が大幅に増加してきた結果、世界の養殖生産量は過去 20 年間約 4 倍に拡大し、今後も成長の見通し。漁船漁業による生産が頭打ちとなっているため、養殖業への期待が大きくなっている事が感じられた。</p>
-----	---



様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 小林栄二

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	労働局との雇用対策協定について		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日程	令和6年1月19日(金)		
時間	10:00 ~ 10:40	場所	衆議院会館
概要	<p>① 雇用対策協定について 厚生労働省（職業安定局）より</p> <p>1. 雇用対策における国と地方公共団体等との連携について</p> <p>(1) 国（ハローワーク）と地方公共団体、民間ビジネスにはそれぞれの「役割」と「強み」があり、それぞれ「補完」しあいながら、一体となって雇用対策を進めることで、外部労働市場全体としてマッチング機能の最大化を図るとともに、住民サービスのさらなる強化を目指すことが重要。</p> <p>(2) 雇用対策協定締結数 47都道府県209市22町1村が締結済み</p> <p>(3) 雇用対策協定で実現できること</p> <p>①これまでの連携方法を整理・見える化 ②定期的な運営協議会とPDCA化 ③適切な役割分担による行政資源の効率化 ④地域の雇用対策への前向きな姿勢のPR</p> <p>2. 三重県の取り組みについて</p> <p>(1) 三重県</p> <p>①障がい者雇用推進企業ネットワークの活用や各種セミナーの実施により障がい者雇用の拡大を推進 ②障がい者は働くステップアップカフェの活用などにより障がい者雇用についての企業や県民の理解を促進 ③障がい者の短時間雇用や施設外就労などを普及・啓発し多様で柔軟な働き方を推進 ④アドバイザーの派遣や拠点利用の案内などにより、障がい者のテレワークの普及を促進</p> <p>(2) ハローワーク</p> <p>①企業を対象とした障がい者雇用状況に関するアンケートを実施し、個々の企業に寄り添った提案・指導 ②法定雇用率未達成企業及び公的機関に対する訪問指導及び集団指導 ③障がい者就職面接会・説明会、未達企業向けの雇用促進セミナー等の開催 ④障がい者就業・生活支援センターや障がい者職業センターとの連携により障がい者の定着支援まで一貫して行うチーム支援の推進 ⑤職場定着支援の一環として「精神発達障害者しごとサポーター養成講座」を開催</p> <p>(3) 効果・・・民間企業による障がい者実雇用率上昇</p>		
所感	<p>国と地方公共団体、民間人材ビジネスにはそれぞれ役割、強みがあり、それぞれ強みを補完しながら、一体となって雇用対策を進めることで外部労働市場全体としてマッチング機能の最大化を図るとともに、住民サービスの更なる強化を目指す事が重要だと感じました。</p>		

様式2



様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 小林栄二

項 目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名 称	子ども家庭庁(放課後等デイサービス、養育費の確保)		
分 類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(        )		
日 程	令和6年1月19日(金)		
時 間	10:40 ~ 12:00	場 所	衆議院会館
概 要	<p>①放課後等デイサービスの方向性について 子ども家庭庁(支援局障害児支援課)</p> <p>1. 放課後等デイサービスの概要について</p> <p>2. 現状について</p> <p>(1) 令和4年度の費用額は約4,669億円であり、障がい福祉サービス等全体の総費用額の13.7%、障がい児支援全体の総費用額の67.0%を占める。</p> <p>(2) 令和4年度の一人当たり費用月額(一月平均)は、126,857円となっている。</p> <p>3. 現状・課題・方向性について</p> <p>(1) 児童発達支援・放課後等デイサービスにおいては、本人への5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間性・社会性」)を全て含めた総合的な支援を行うことにより、包括的かつ丁寧に発達段階をみていくことが重要。</p> <p>(2) 「障害児通所支援に関する検討会」において総合的な支援の推進と特定領域への支援評価が協議されている</p> <p>(3) 基本報酬の議論について、支援に対する人員の配置状況や支援の内容などに留意しつつ、支援時間の長短を考慮したよりきめ細かい評価を行うことが必要とされている。</p> <p>(4) 支援の質の向上のために、運営基準等において実施方法を明確化し、運用の標準化の徹底を図ることが必要であるとされている。</p> <p>②ひとり親家庭等への支援策について(子ども家庭庁支援局家庭福祉課)より</p> <p>1. 子どもの貧困率(ひとり親世帯)の推移・・・新基準ではR3年 44.5%</p> <p>2. 国際比較・・・OECD36カ国中32位と極めて高い状況</p> <p>3 母子家庭の86.3%が就業。 「非正規率の割合が高いので、より収入の高い就業を可能にするための支援が必要」</p> <p>4. 養育費受領率・・・R3年28.1%→R13年目標40%</p> <p>5. 子ども未来戦略(R5年12月22日閣議決定)</p> <p>(1) 全ての子ども・子育て世帯を対象とする支援の拡充 「子育て・生活支援」・・・相談窓口の設置、生活支援強化、子どもの居場所支援 「就業支援」・・・ひとり親の資格取得支援、高等職業訓練促進給付金 「養育費確保支援」・・・親子交流支援事業、離婚前後親支援 「経済的支援」・・・児童扶養手当、所得限度額の引き上げ、多子加算の拡充などの四本柱</p> <p>※令和6年度予算案ではひとり親支援にかかる事業の対象者要件の見直しを計上</p>		
所 感	<p>①放課後等デイサービス…児童発達支援、放課後等デイサービスにおいては、本人への5領域(健康・生活)(運動・感覚)(認知・行動)(言語・コミュニケーション)(人間関係・社会性)を全て含めた総合的な支援を行うことにより、包括的かつ丁寧に発達段階を見ていくことが重要だと感じました。</p> <p>②ひとり親家庭等への支援施策について…地方自治体の相談窓口就業支援を担う就業支援専門員を配置して支援の専門性と体制を確保するとともに、母子・父子自立支援員が弁護士等の専門職種の支援を受けながら相談体制、事務的な業務を補助する職員の配置、休日・夜間の相談体制づくりを支援することで、相談支援体制の質・量の充実を図り、総合的な体制を構築・強化することが感じられました。</p>		

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月25日

小林 栄二 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム

委員長

金9,000円 (不課税・消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 小林 栄二

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名称	第18回全国市議会議長会研究フォーラム		
分類	<input type="checkbox"/> 視察 <input checked="" type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(    )		
日程	令和5年10月25日(水)		
時間	13:00 ~ 16:50	場所	西日本総合展示場 新館
概要	<p>●第1部基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」          【片山 善博 氏（大正大学教授兼地域構想研修所長）の講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証する中で、税金に係る議論が全くなされていないことに気付かされた。地方において、固定資産税や住民税の税率の上げ下げの議論がなされていない、直接影響を受ける地方こそ議論の必要性を確認できた。</li> <li>・地方議会における市民の関心の低さは、議場における議論が展開されていないことを指摘された。住民の声を取り入れるためには、委員会において市民を参加させ、意見を言える場づくりが必要であり、公聴会ではなく「市民の意見を聞く会」等の条例の制定を考慮することも考えるべきとの事だった。</li> <li>・執行部の意見をそのまま受け入れずに、ちゃんと裏を取ることも重要である。</li> </ul> <p>●第2部パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方議会における住民の関心が低いことは、住民自治の危機だと考えることが重要で、地方自治法改正の意義であると問題提起があった。統一地方選挙における投票率は、例えば市議会議員選挙の平均では、昭和26年90.56%、昭和58年75.25%、平成11年61.1%、平成31年45.54%と半分以下にまで下がっている現状がある。</li> <li>・議員のなり手不足の課題の中にはハラスメントを受けた問題もあり、立候補を検討中、または立候補準備中に、全体の61.8%、男性58%、女性65.5%、また、議員活動中や選挙活動中に全体の42.3%、男性32.5%、女性57.6%との現状を認識した。ハラスメントの中には、不審な電話、罵倒や叱責、また、票ハラスメントに繋がる事例も多くある。</li> </ul>		
所感	<p>議会改革においては、改革をする中で税金に関することは国だけでなく、市民の意見を聞く事が大事だと感じました。</p> <p>統一地方選挙においては、年々投票率が下がる理由は地方自治の危機、また議員のなり手不足は様々なハラスメントが原因だと感じました。</p>		